

北海道駒ヶ岳

○地磁気全磁力

北海道大学では、プロトン磁力計により山頂火口原を含む5箇所で全磁力連続観測を行っている(図1)。2006年以降の変化(K04を参照点とした単純差)を図2に示す。

山頂火口原内のK05では長期トレンドとして僅かに減少の傾向があるものの、火山性の変動かどうかを現時点で断定することは難しい。なお、2008年7月のステップ状の変化は、荒天に伴う自然擾乱によるものであるが、直接的な原因は不明。

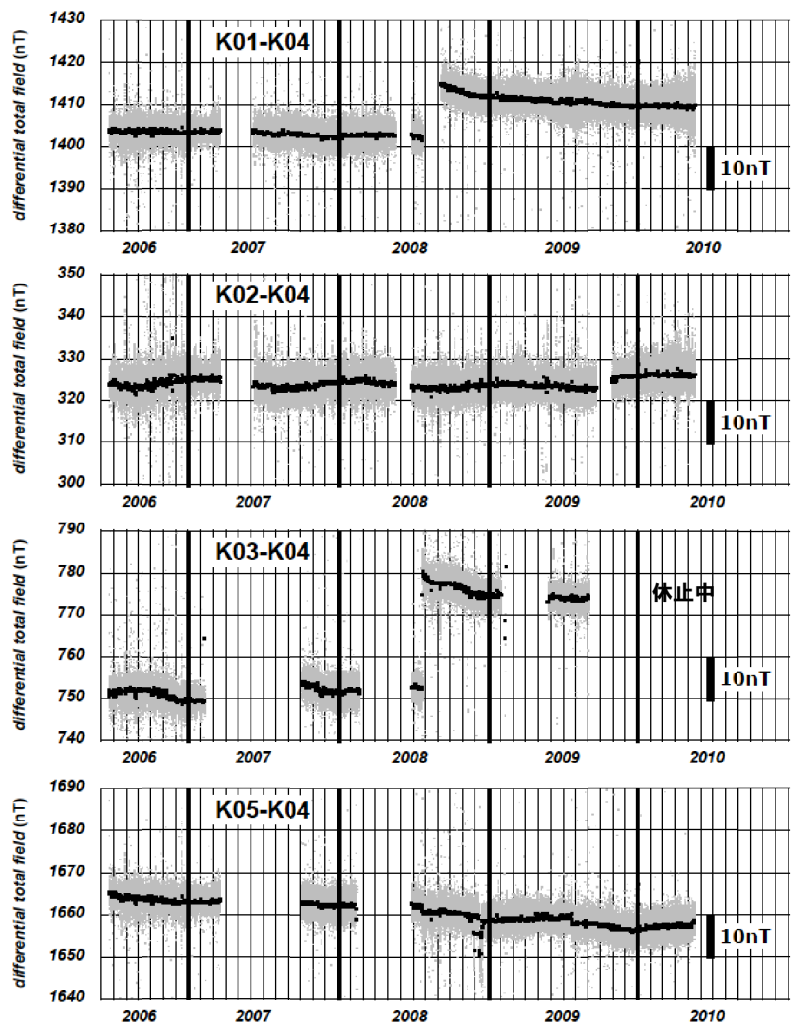
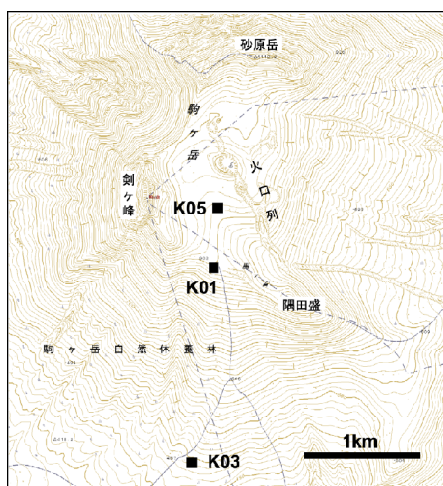
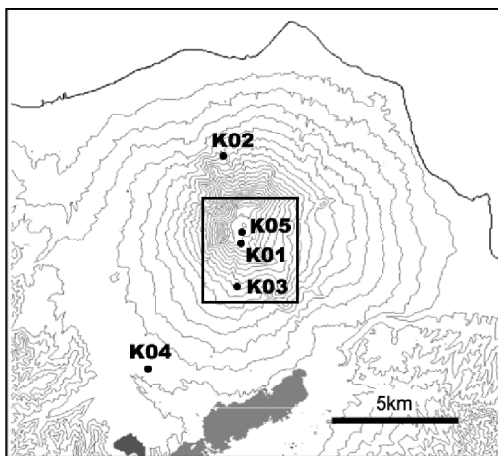


図1 駒ヶ岳全磁力連続観測点の配置。下図は山頂域の拡大図。本図の作成には国土地理院発行の50mメッシュ地図標高およびオンライン地図画像を使用した。

図2 2006年6月～2010年5月の全磁力変化。K04を参照点とした5分値単純差および日平均値でプロット。

(橋本・鈴木・茂木)